

腹腔鏡下胃全摘術を受けられる患者様へ

NO.1

氏名(@PATIENTNAME)

担当医師()

受持ち看護師()

月日経過	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目~7日目	8日目~退院
達成目標	不安なく手術を受けることができる	呼吸器症状(咳・痰・)や発熱がなく手術を受けることができる 	痛み出現時、薬使用にて軽減することができる	痛み出現時、薬使用にて軽減することができる ベッドサイドで排泄をする事ができる 水分をとることができる	病棟内を歩行することができる	院内を歩行することができる 37.5度以上の発熱なく過ごす事ができる 食事が開始できる	37.5度以上の発熱なく過ごす事ができる 分食について知ることができる	37.5度以上の発熱なく過ごす事ができる 吐き気なく過ごすことができダンピング症状理解することができる 食事療法について理解することができる	自己分食できる
治療	採血があります	術後の深部静脈血栓症予防の為に手術室へ行く前に弾性ストッキングを着用します 	手術後、心電図、血圧計フットポンプ、酸素マスクをつけます	朝、酸素マスク、心電図をはずし、鼻の管を抜きます (ガーゼや防水テープを張り替えます)	 背中痛み止めの管をぬきます	ドレーンを抜去します			
処置	お臍の処置を行いません		点滴があります	点滴があります	点滴があります	点滴があります(食事が半分摂取出来れば終了です)			
薬剤	今まで飲んでた薬があれば医師の指示に従って下さい								
検査		手術室で鼻から胃までチューブを入れます 手術は、 時 分頃からです	痛みが強い時は痛み止めを使います	X線撮影があります 朝、採血があります		朝、X線撮影と採血があります			
安静度	病院内自由です 病棟外にでられる時は看護師に声をかけて下さい 	トイレを済ませ、術衣に着替え、弾性ストッキングを着用し、歩いて手術室に向かいます	ベッド上安静ですが、身体の向きを変えることはできます 血栓予防の為足を曲げたり伸ばしたりしましょう 	ベッドを起こすことができ、調子が良ければベッドサイドに座ることができます 理学療法士がベッドサイドでリハビリを開始します	病棟内を歩行できます(初めて歩く時は看護師が付き添います) ストッキングを脱ぎます	院内自由です(病棟外へ出られる時は声をお掛け下さい) 			
リハビリ					理学療法士がリハビリを行います	理学療法士がリハビリを行います			
栄養	夕食まで食事がとれます (病状により前日から、絶食で水分だけになることもあります)	水や食事をとることはできません うがいはできます 	絶飲食です	医師診察後、水分が開始になります	飲水可能です	お食事(五分粥)が開始になります	全粥食になります	7日目以降米飯になります	
清潔	お臍の処置をした後に入浴して下さい 			手術後はタオルで身体を拭きます 			シャワー浴できます	入浴できます 	
排泄			麻酔がかかった後に尿の管が入ります	診察後尿の管を抜く予定です ベッドサイドで排泄する事ができます	手術前と同じように排泄する事ができます				
教育	入院時オリエンテーションをします		 ご家族に手術結果を説明します。			食事を食べる時の注意点について看護師より説明があります パンフレットをお渡しします			看護師より退院後の注意点について説明があります
指導	主治医及び麻酔科医が手術や麻酔について説明します								
説明	手術室看護師が訪問します								